

スレート・板金金具 施工マニュアル

販売店・工事店様用

もくじ

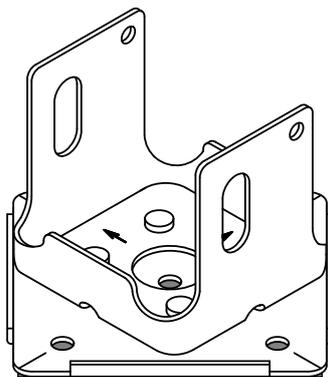
1. 架台・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p1
2. スレート・板金金具・・・・・・・・・・ p2

◆ 仕様 ◆

太陽電池モジュール 横置

野地固定

フックシングル対応



設置工事をされる方へお願い

- 据付工事を始める前に施工マニュアルをよく読み、正しく安全に据付けてください。
- 据付け強度を確保するため、施工マニュアルの据付方法を守ってください。
- 据付工事は販売店・工事店さまが実施してください。（第2種電気工事士の資格必要）
 - 据付工事は高所（2 m以上）作業で転落の恐れがあります。また、感電の恐れもあるため、「労働安全衛生規則」に従って施工してください。
 - コーキング材を使用する場合、保護眼鏡、保護衣、保護手袋など適切な保護具を着用してください。
- 取付け部材は、必ず付属品を使用してください。
- 本施工マニュアルは支持部材のみの施工マニュアルとなります。
- 建築強度については考慮されていないため、販売店様、施工店様にてご確認ください。

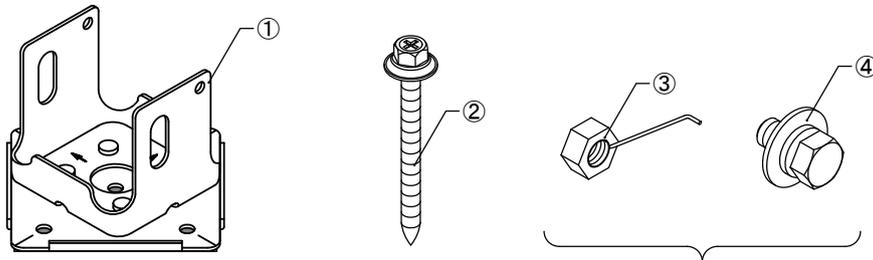


1. 架台

1) 支持部材

①スレート・板金金具セット

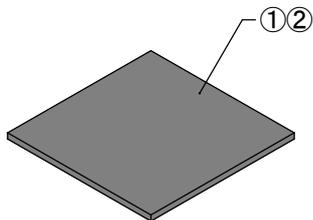
品名	数量
① スレート・板金金具	1
② 木ネジ 5.0×60 (W・P付)	5
③ M8リボンナット	2
④ M8-**セムスポルト	2



※『スレート・板金金具施工マニュアル』に使い方の説明は記載していません。
縦椽を固定する際に使用します。

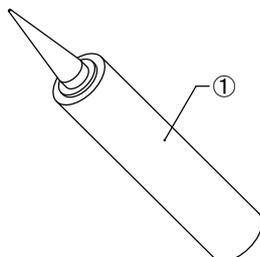
②シングル対応追加セット

品名	数量
① 増し貼り用プチル	1
② プチルスペーサー	1



③コーキング

品名	数量
① コーキング	1



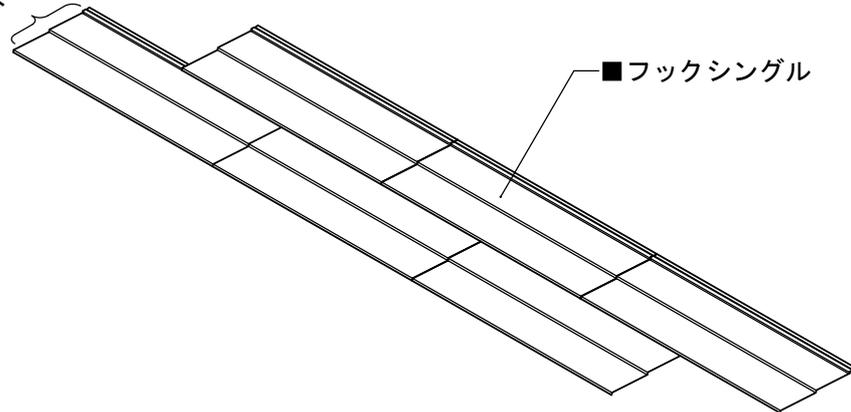
※金具10個／本

2. スレート・板金金具

推 奨

屋根材を葺く場合、働き幅の半分ずらし(千鳥配置)での施工を推奨します。

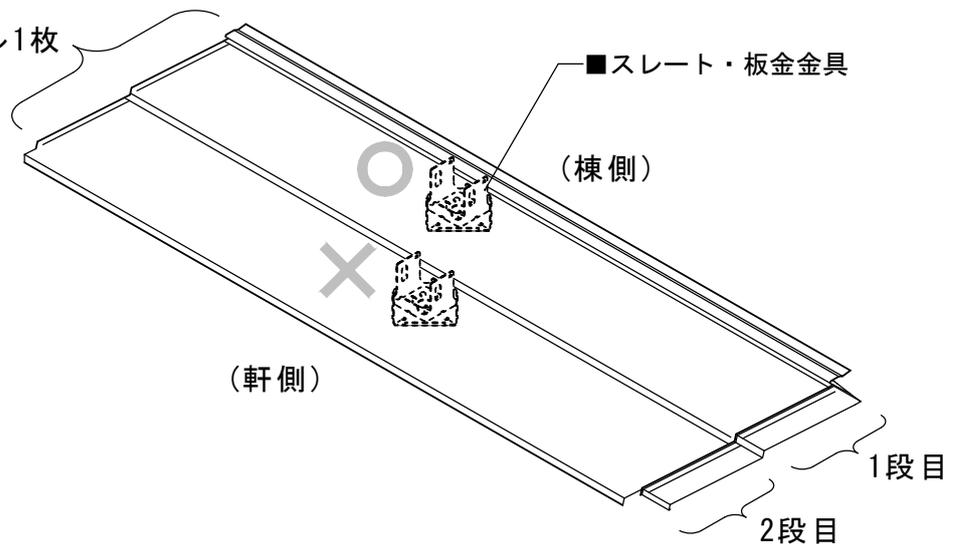
フックシングル1枚



1) スレート・板金金具の配置について

- ① フックシングル1枚に対してスレート・板金金具は1段目(棟側)に配置してください。

フックシングル1枚

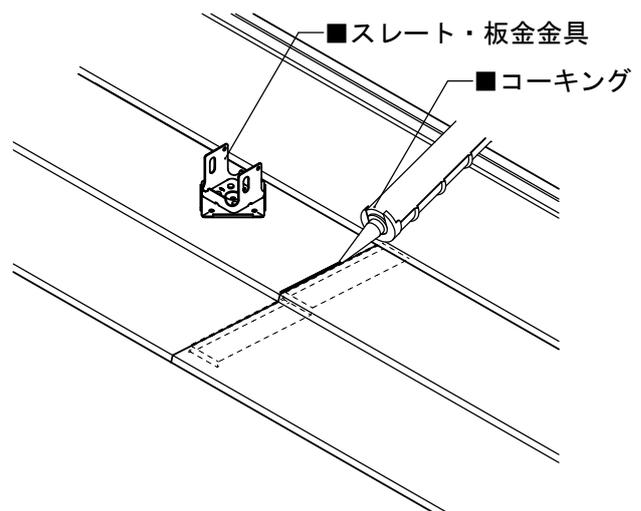
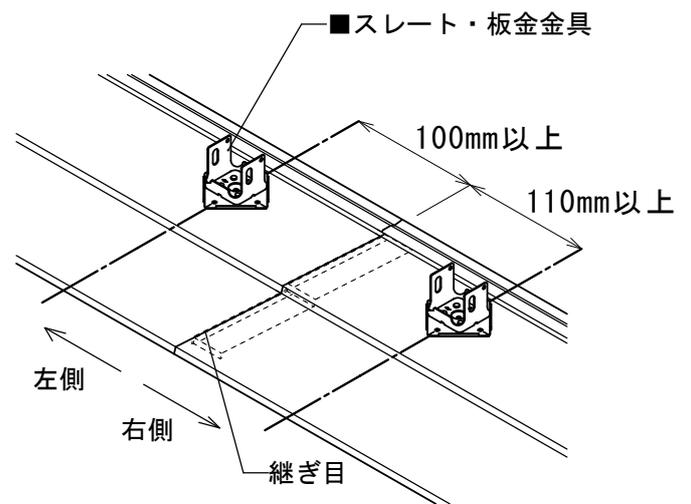


- ②スレート・板金金具は軒から見て屋根材継ぎ目から金具中心まで左側は100mm以上、右側は110mm以上離れた位置に配置してください。

！ 注 意

屋根材継ぎ目から支持部を左側へ100mm以上はなして配置しても、屋根材の沈み込みにより屋根材継ぎ目に隙間が発生する可能性があります。

※隙間が発生した場合でも、コーキングなどの処理は必要ありません。
隙間が気になるようであればコーキング処理をしてください。

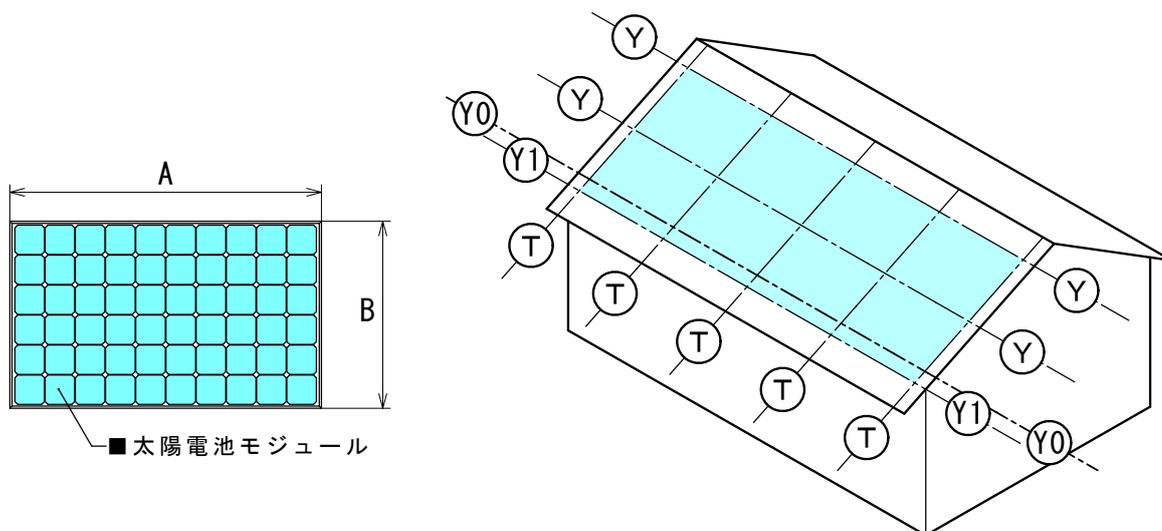


2) 太陽電池モジュール位置の墨出し

太陽電池モジュールレイアウト図に従い、太陽電池モジュールの据付け位置の確認を行います。

- ① Y0ライン：屋根材の段差より64mm軒側（軒先のスレート・板金金具の中心）
- ② Y1ライン：Y0ラインより250mm軒側（縦棧の先端）
- ③ Yライン：Y1ラインより B （太陽電池モジュールの短辺寸法）+隙間寸法^{※1}
- ④ Tライン： A （太陽電池モジュールの長辺寸法）+隙間寸法^{※1}

上記の順に墨出しします。

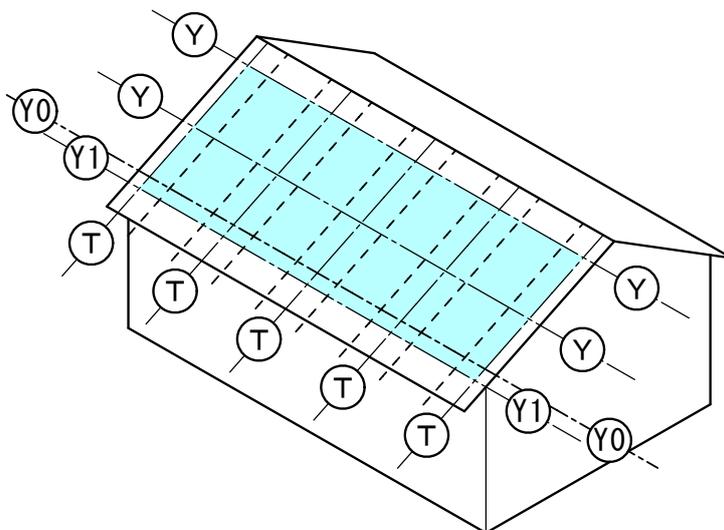


※1. 隙間寸法は工法によって異なります。

詳しくは別冊の『設計条件編』をご参照ください。

3) 縦棧位置の墨出し

- ① 太陽電池モジュールの片持ち長さに合わせ墨出しを行います。



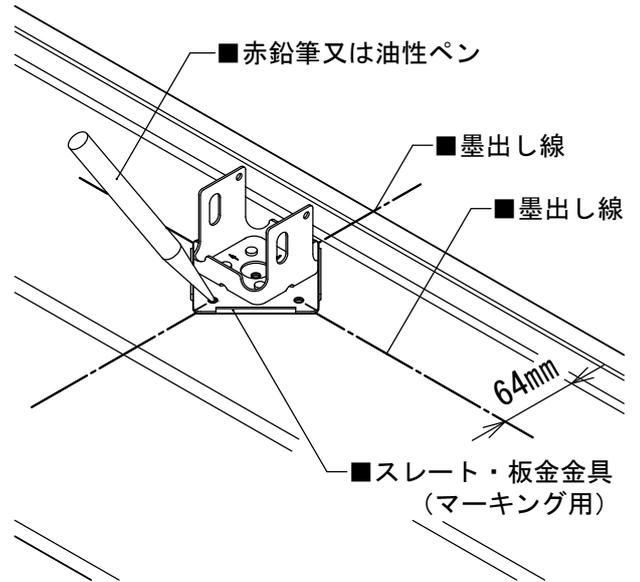
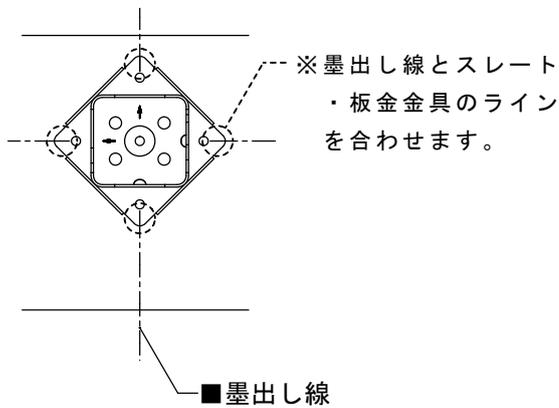
4) 軒先以外のスレート・板金金具の墨出し

- ① 軒先以外のスレート・板金金具の墨出しを行います。

※屋根材に対するスレート・板金金具の取付け位置は、屋根材の段差より64mm軒側です。

5) スレート・板金金具の固定

- ①スレート・板金金具を墨出し線上に置き、Y0ラインと縦横ラインの交点と上下左右の木ネジ固定穴の5箇所をマーキングします。



- ②スレート・板金金具を退かし、マーキング位置に鉄鋼用ドリルビット(φ3.0)で、フックシングルの方に下穴をあけます。

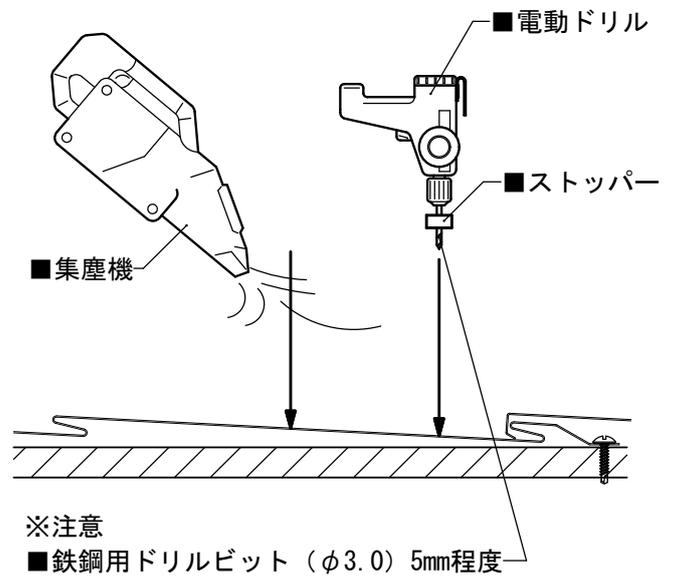
！ 注意

スレートの場合とドリル径が異なります。
野地板まで下穴をあけないでください。

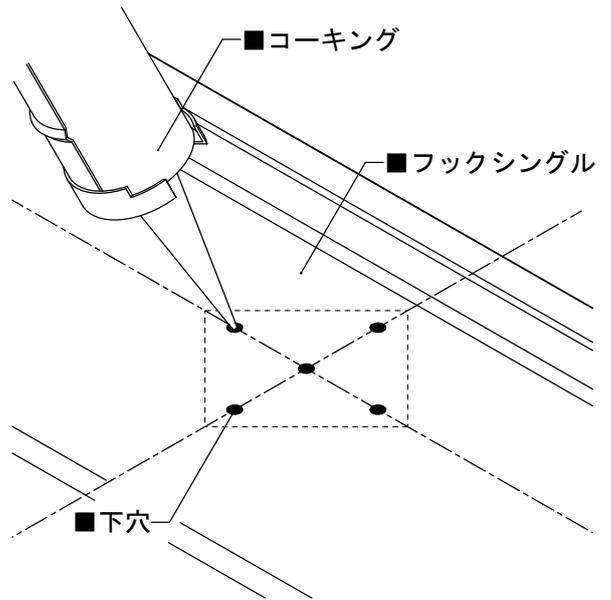
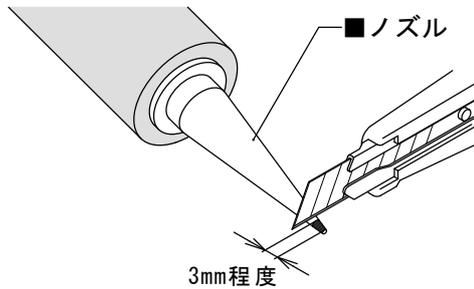
- ③下穴の切り粉を集塵機などで取り除きます。

！ 注意

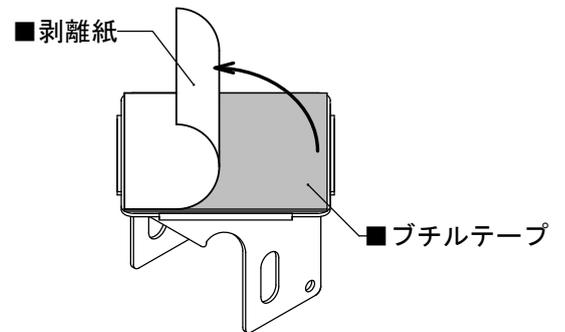
切り粉は必ず除去してください。
サビの原因となります。



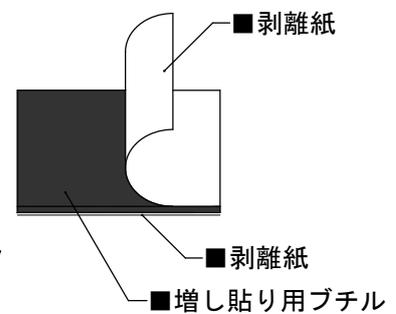
- ④コーキングのノズルの先端を3mm程度カットし、下穴にコーキングを十分に注入します。



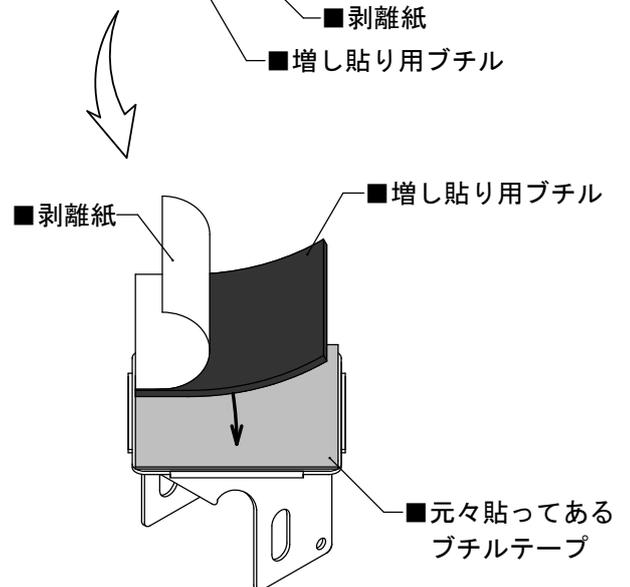
- ⑤スレート・板金金具に付いているブチルテープと、増し貼り用ブチルの片面の剥離紙を確実に剥がします。



- ⑥スレート・板金金具のブチルテープに増し貼り用ブチルを貼付け、剥離紙を確実に剥がします。

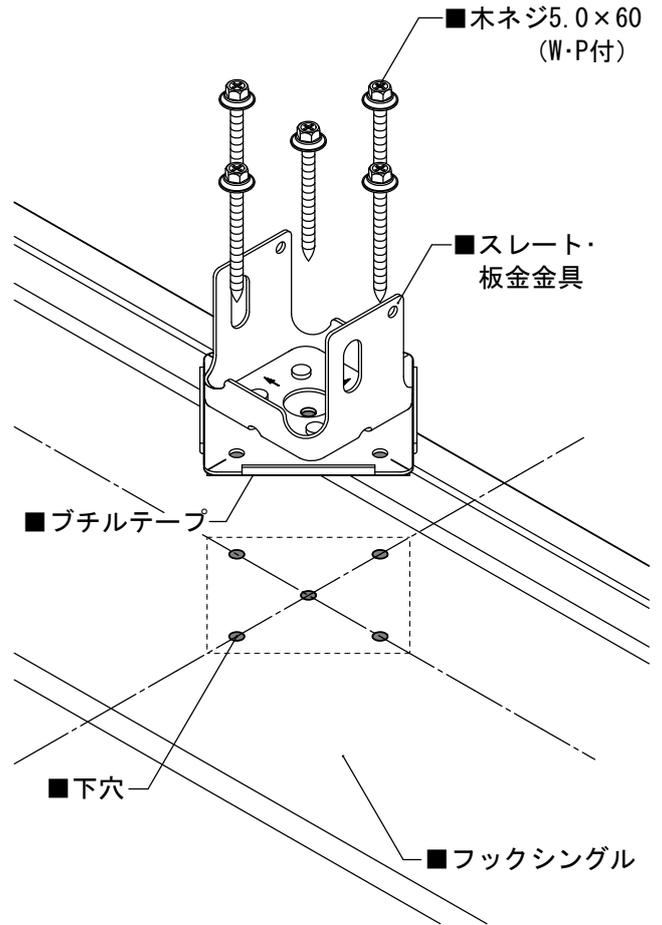


！ 注意
剥離紙が残った場合は、防水性が損なわれ雨漏りの恐れがあります。



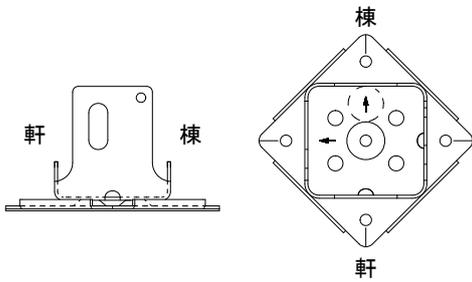
⑦スレート・板金金具を墨出し線の上に合せ、木ネジ5.0×60（W・P付）で締付けます。

作業後、スレート・板金金具がフックシングルに密着していることを確認します。



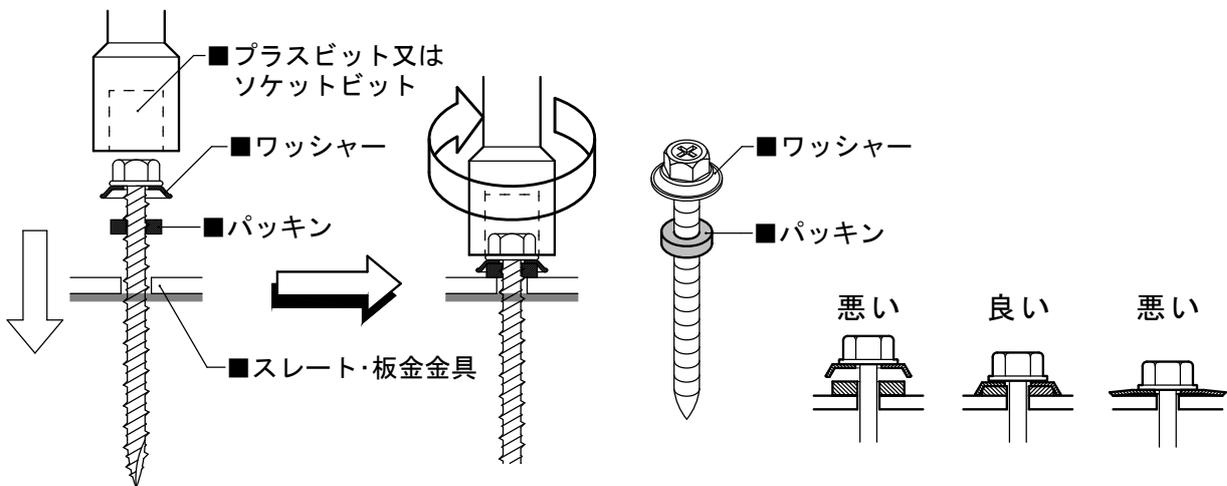
！ 注意

- ・金具の向きに注意してください。
- ・↑が棟方向となります。（図参照）



！ 注意

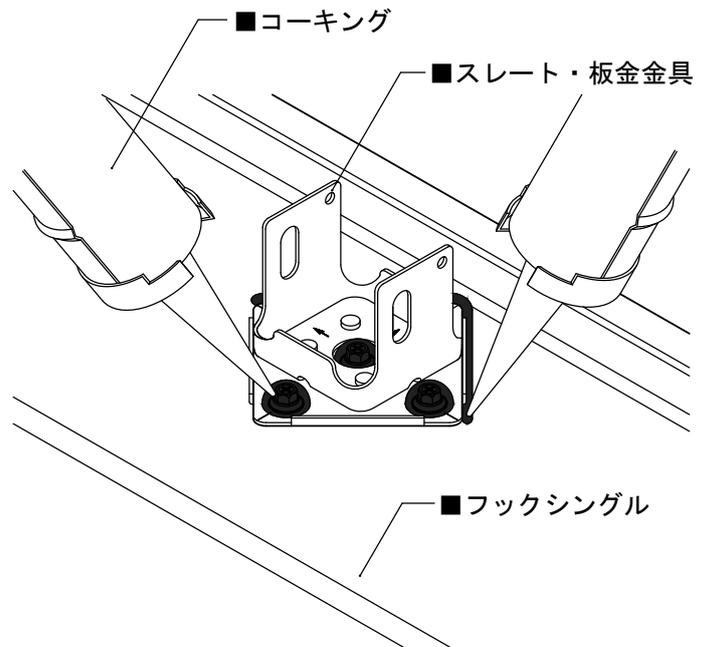
木ネジは締過ぎないようにご注意ください。
締付け目安は、ワッシャーが手で回転しない程度です。



- ⑧ 全てのスレート・板金金具の周囲
（棟側2辺）とネジ頭（5箇所）に
コーキングを施します。

！ 注 意

スレート・板金金具の軒側は、入り込んだ
雨水を排出する目的のため、コーキングし
ないでください。



⇒以降、太陽電池モジュールの施工については『太陽電池モジュール施工マニ
アル』をご参照ください。